

## 第 23 回中国地区大学男子ソフトボール選手権大会

会期：2023/11/18～11/19

会場：広島経済大学

シードのため 2 回戦より

広島経済大学 00100 1

環太平洋大学 21302× 8

(規定により 5 回 7 点差コールドゲーム)

広：大北 (2 回) 藤井 (2 回 2/3) 一辻田

環：福德 (2 回) 手嶋 (2 回) 下河内 (1 回) 一平野 (こ) (2 回) 松村 (3 回)

本塁打：辻田 (広)

三塁打：大北 (広)

二塁打：稗田 (環)

### 戦評

新人戦と位置づけされた秋季大会、本年度のインカレ予選の戦績よりシードされて 2 回戦より参戦。

寒波のため、朝からあいにくの雪と雨により開始時間が 2 時間ほど遅れてスタートし、変更として本日の第 4 試合が明日の 1 試合目にスライドしたため決勝戦は行わないという変則の大会となった。また、地形的に日の暮れが早く照明の都合もあるため 80 分ゲームと変則の大会となった。

この大会自体が、次年度のブロックシード権のかかった大会のため、ベスト 4 が決まれば不都合がないためです。

IPU の対戦相手は広島経済大学、1 回戦を 17-1 で勝ち上がってきたチームです。

IPU は 1 回裏、1 番大橋、2 番福島が連続四球で出塁。1 死 1.2 塁からワイルドピッチで大橋がセカンドから好走塁でホームを陥れて 1-0 と先制。3 番和田は 2-2 からの 5 球目をライトに上手く合わせて犠飛により追加点を奪いノーヒットで 2 点を先制した。

2 回には 6 番平野 (こ) レフト前、7 番望岡 (は) の初球がワイルドピッチとなり 3-0。望岡 (は) もライト前ヒットで続き 1.2 塁。8 番宮崎が四球を選んで無死満塁。9 番真鍋は 2-0 からライトへ犠飛を上げて 4-0。1 番大橋も 2-0 からレフト前タイムリーヒットで 5-0 とリードを広げた。

3 回表の広島経済大学の 1 番辻田に 1-1 から手嶋が本塁打を許して 5-1。

4 回裏 IPU の攻撃は 6 番代打松村が四球、1 死から 8 番宮崎も四球でつなぎ 1 死 1.2 塁。9

番真鍋の2球目がワイルドピッチとなり松村の好走塁でホームを陥れて6-1。5回裏は1死から7番代打山田がレフト前ヒット、8番代打の村本内野ゴロで入れ替わり、9番代打木之本のセカンド強襲ヒットで1.3塁。1番代打坂本の2球目に木之本が盗塁成功。2番途中出場の稗田が3-2から右中間を破るタイムリーツーベースで2者が生還し8-1となり、7点差のコールドゲームで勝利した。

2日目

準決勝 第2試合 10:30～

広島大学	0	0	0	0
環太平洋大学	4	7	3	14

広：矢木一東出

環：下河内（3回）、手嶋（1回）一望岡（う）

本塁打:望岡（う）、真鍋

戦評

1回裏1番大橋ライト前ヒット、1死後3番和田、4番高田連続四球で満塁。ここから連続ワイルドピッチで4-0。

2回裏、8番植田四球、1死後1番大橋、2番福島連続四球で満塁、和田のサードゴロでホームがアウトとなり2死満塁。4番高田は押し出しを選んで大橋がホームインで5-0。5番望岡（う）は3-1からライトスタンドへ、グラウンドスラムとなる満塁ホームランで9-0。村本四球の後、真鍋が初級をセンターバックスクリーンにツーランホームランで11-0。

3回裏9番木之本が四球、ワイルドピッチで進塁、3塁へ。代打坂本、稗田、が連続四球で満塁。続く代打東屋敷が0-1から押し出し死球で12-0。4番代打岡田がセンターへ犠牲フライを上げて坂本と稗田の好走塁で14-0。

守っては先発下河内、手嶋のリレーでノーヒットに押えて4回規定により10点差コールドゲームで勝利し優勝しました。（前日か悪天候のため決勝戦は行わず）